

# 漁業の衰退、止めたくない？

宮城県仙台第三高等学校  
C-2班

## 1. 背景と目的

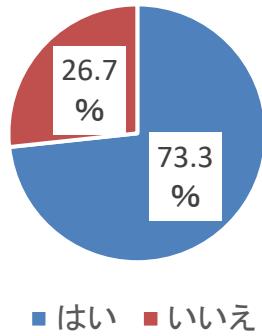
### <背景>

- ・日本の第一次産業が全体的に衰退傾向
- ・73.3%の人がそれに不安を感じている（右図）
- ・経済水域の広い日本にとって海産資源は重要
- ・世界遺産の和食への影響

### <目的>

- ・日本の漁業を再振興させる。
- ⇒漁村の活性化  
漁業関係者の収入増加、  
それに伴う漁業従事者の増加

日本の第一次産業に  
不安を感じているか



(図1) 独自に行った日本各地の高校生32人を対象とした漁業に関するアンケートより

## 2. 仮説【海産物の輸入を規制した場合 衰退を止められるのではないか】

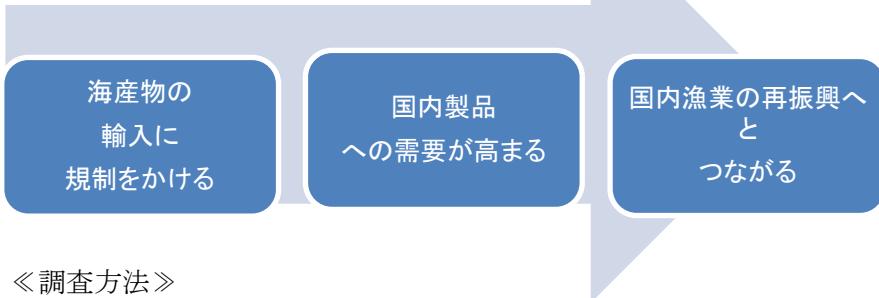
《現在》グローバル化により、国内海産物の需要低下

ここで我々は、国外からの海産物輸入を規制した場合どうなるのかという仮説を立て、研究をすることにした。

### 《予想》

- ①家庭での国内製品の需要が高まり、売上げが増加する。
- ②国内での供給量ではまかなえず、国内の企業や店の経営が逆に困難になってしまう。

この2つのシチュエーションを検討した。



### 《調査方法》

国内の生産量、自給率等のデータを収集して、そのデータをもとに、このシチュエーションが引き起こすであろうメリット、デメリットを考察し、仮説が効果的かどうか、研究を進める。

## 5. 今後の展望

### <現在>

日本は、品目に応じて世界の様々な生産国・地域から輸入していて、平成23(2011)年における輸入相手国は120か国と16地域に及んでいる。なお、水産物の関税率は品目により0~40%、貿易加重平均では4%程度となっている。しかし輸入量は増加傾向にあり、これ以上輸入に規制をかけると日本の企業が相次いで倒産する恐れがある。

### 仮説②

国内の漁業従事者数を増やし、生産力を向上させれば、それに伴い自給率も増加するのではないかと。

- ・日本の第一次産業…**3K(きつい、汚い、稼げない)**といったイメージ
- ・現在の若者…**仕事に安定を求める**

～漁業従事者を増加させるためには～

日本の若者の第一次産業に対するイメージを良い方向に転換させることや、近年注目されている**働きやすい環境づくり**をすることが、今後の日本の漁業関係者に求められる。

## 4. 考察

### <メリット>

- ・国内海産物の売上げ増加  
⇒漁業関係者の収入増加、従事者増加につながる。
- ・水揚げ量と売上量の差が少なくなる。  
⇒無駄の少ない生産性、「持続可能な発展」

国内漁業の  
再振興への  
一番の近道

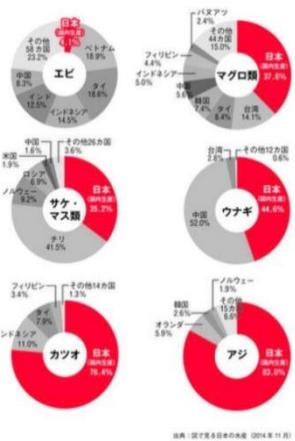
### <デメリット>

- ・エビ等の、国民が好む水産物の不足  
⇒食産業への悪影響
- ・供給量が少なくなる  
⇒値段高騰

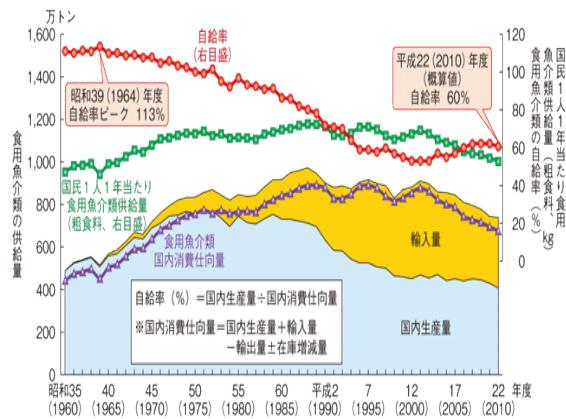
和食離れの  
危険性もある。

外国産の魚介類に依存している回転寿司  
チェーン店が倒産してしまう可能性がある

## 3. 結果



(図2) 食用魚介類の国内生産量と輸入量の割合 (2013年)



資料：農林水産省「食料供給表」、平成22(2010)年度は水産庁調べ

(図3) 食用魚介類の自給率などの推移

・年々国内消費量に占める輸入量の割合が大きくなっている

・マグロ、エビ、サケなどといった現在よく好まれる魚介類は、半分以上が輸入品である。

・自給率の推移は、十年ほど前から回復傾向にあるが、未だ4割は輸入品に頼らざるを得ない状況。

・輸入量と国内生産量を含めた、食用魚介類の供給量そのものが近年減少している。⇒**魚離れ**

## 参考文献

- 1) 片野歩, WEDGE Infinity “アイスランドの漁業 儲かりすぎて税金4倍に” <http://wedge.ismedia.jp/articles/-/2293?page=5> (参照2018.09.21)
- 2) 毎日新聞 “食料を自給できるか(漁業編)” <https://mainichi.jp/articles/20150806/dyo/00m/010/000000c> (参照2018.09.21)
- 3) 水産省 “(3) 水産物の輸出入の動向” [http://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/wpaper/h23\\_h/trend/1/t1\\_2\\_1\\_3.html](http://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/wpaper/h23_h/trend/1/t1_2_1_3.html) (参照2018.09.21)